

「しんぶん赤旗」(2011年12月16日付)

都議会閉会

児童会館廃止案を可決

日本共産党
は反対「良質な文化の拠点」

東京都議会は15日の最終本会議で、年間60万人もの子どもや保護者が利用する都児童会館(渋谷区)を2012年4月1日に廃止する条例案を民主、自民、公明各党、生活者ネット・みらいなどの賛成多数で可決し閉会しました。日本共産党は反対しました。

日本共産党の、たゞえ民夫都議は討論で、

児童会館は都内唯一の大型児童館であり、交流の場と同時に文化ホールを併設した良質な文化の拠点でもあると強調。都が機能移転するという子ども家庭総合センター(仮称、新宿区)には子どもの遊び場も文化ホールもないこと、廃止条例の提案前に会館用地を渋谷駅周辺の巨大開発に提供すると発表したこと

厳しく批判しました。
本会議はまた、築地

たぞえ氏は橋梁工事で市場内の業者に重大な影響を及ぼすと指摘。市場の東京ガス工場跡地(江東区豊洲)への移転を前提に、市場を貫く大型幹線道路・環状2号線の橋梁(きょうりょう)を市場に面した隅田川に建設する契約案を自公両党などの賛成多数で可決しました。日本共産党、民主党、ネットなどは反対しました。

建設を强行するのは許さないと述べました。建設を強行するのは許さないといままであります。道路汚染問題の解決を見た。